

◆ あとがき ◆

本特集「IgA 腎症のすべて：最新の診断法と治療」では、IgA 腎症に関する最新の知見とその臨床応用について、基礎・臨床の両面から幅広く取り上げました。IgA 腎症は1968年にBergerらによって初めて報告されて以来、世界中で最も頻度の高い原発性糸球体腎炎として認知されてきました。特に日本では、腎生検施行例の中で最も多く診断される疾患であり、腎臓医にとって極めて身近である一方、その病態は依然として謎に包まれている部分も多くあります。

しかし、近年の研究により、その病態理解は劇的な進展を遂げています。ガラクトース欠損IgA1 (Gd-IgA1) に代表される糖鎖異常、自己抗体との免疫複合体形成、補体系の関与など、多段階的な免疫異常に基づく「マルチヒット仮説」は、IgA 腎症の全体像を包括的に捉える有力な枠組みとなりました。さらに、粘膜免疫異常や Toll-like receptor (TLR) を介した自然免疫の活性化、腸内細菌叢との関連、骨髄に定着する IgA 産生細胞など、疾患の発症・進展に関わる新たなメカニズムが次々と明らかになってきています。

これに伴い、治療の在り方にも大きな変化が訪れています。従来の対症療法中心のアプローチから、病因に直接介入する疾患修飾型治療への移行が本格化しており、SGLT2 阻害薬、budesonide、エンドセリン受容体拮抗薬、さらには補体阻害薬やBAFF/APRIL を標的としたバイオ製剤の臨床応用が進んでいます。リスク層別化や個別化医療の必要性もこれまで以上に高まり、診断・治療のいずれにおいても精緻な戦略構築が求められています。

本特集では、IgA 腎症の基礎から臨床応用に至るまでの現状と展望を整理し、今後の診療の指針となることを目指しました。ご執筆いただいた諸先生方のご尽力に心より感謝申し上げますとともに、本特集が日常診療や研究の一助となり、読者の皆様にとって有益な知見を提供できたなら幸いです。

横尾 隆

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5 階 ☎ 03-3814-8541

メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9

アド 第1長谷川ビル 2 階 ☎ 03-5776-1853 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告—第99巻第3号(9月増大号)

特集 腎性貧血の最新動向—2025 年版 CKD 患者における腎性貧血治療ガイドラインの要点と実践

序文	腎性貧血の最新動向……………	本田浩一
総論	腎性貧血の病態—エリスロポエチン産生異常……………	鈴木教郎・他
	腎性貧血治療①第一選択薬としての ESA……………	阿部雅紀
	腎性貧血治療②HIF-PH 阻害薬は第一選択薬になり得るか?……………	小林静佳・他
	CKD 患者の貧血に影響する因子①鉄……………	日高寿美・他
	CKD 患者の貧血に影響する因子②亜鉛、銅……………	永野伸郎
	CKD 患者の貧血に影響する因子③セレン……………	安川 穂・他
	CKD 患者の貧血に影響する因子④カルニチン……………	正木崇生・他
各論	CKD 患者の貧血管理	
	JSDT ガイドラインと国内外ガイドラインとの比較……………	長谷 健・他
	バイオマーカーとしての血清鉄……………	長谷川 毅
	HIF-PH 阻害薬と心血管病 (MACE, 心不全, 血栓症を含む)……………	濱野高行
	腎性貧血の病態—エリスロポエチン産生異常……………	鈴木教郎・他
	2025 年版日本透析医学会「慢性腎臓病患者における腎性貧血治療のガイドライン」の要点と適切な活用に向けて……………	倉賀野隆裕
	2025 年版 JSDT ガイドライン—作成過程……………	鈴木隆浩
	腎性貧血の定義、鑑別診断……………	鈴木隆浩
	小児患者の腎性貧血の診断……………	戸田 明
	Hb 値 治療開始基準と維持すべき目標値……………	鶴屋和彦
	成人保存期 CKD……………	成人血液透析……………
	成人血液透析……………	孤杉公啓
	成人腹膜透析……………	伊藤恭彦
	小児患者……………	三浦健一郎
	腎移植患者の貧血の特徴と Hb 値の治療開始基準、維持すべき目標値—腎移植後……………	辻田 誠
	ESA 投与と CVD ならびに担癌患者への ESA 投与について……………	林 晃正
	ESA 低反応性と予後……………	坂口悠介
	HIF-PH 阻害薬の適用・注意点……………	田中哲洋
	鉄関連因子の評価……………	本田浩一
	鉄補充療法—鉄剤の投与方法、中止基準……………	小川千恵・他
	トビックス	
	iPS 細胞由来エリスロポエチン産生細胞を用いた新規腎性貧血治療法の開発……………	人見浩史
	SGLT2 阻害薬の貧血改善効果と低酸素系への関与……………	今田悠介
	ESA 低反応性と腹膜透析残腎機能……………	今泉貴広
	HIF-PH 阻害薬と腎線維化抑制……………	内藤由朗
	HIF-PH 阻害薬と血清鉄、セルロプラスミン……………	齋藤友広
連載	腎臓学 100 年史	
	第 5 回 腎循環と糸球体濾過調節……………	有馬秀二

名誉主幹	酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦
編集顧問	五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介
	木村健二郎	小磯謙吉	川村哲也
	坂井建雄	佐中 孜	酒井聡一
	堀江重郎	谷川龍男	塩之入洋
	山田 明	竜崎崇和	矢崎恒忠
編集主幹	有村義宏	小林修三	新田孝作
編集委員	青柳一正	安西尚彦	安藤亮一
	河原克雅	菅野義彦	清水 章
	高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫
	平和伸仁	星野純一	本田浩一
			伊藤秀一
			高橋公太
			服部元史
			横尾 隆

第 99 巻第 2 号

腎と透析

©2025 年 8 月 25 日発行

定価 3,190 円

(本体 2,900 円 + 税 10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2025 年前金予約購読料 1 力年 50,600 円(増刊号含む, 税込)